

# ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合  
☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

## No379

平成 28 年 4 月号  
編集:広報・情報システム委員会  
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

### 創立 50 周年記念特集号

これからもよろしく  
お願いいたします



二代目・池田欣二氏



初代・戸塚與三郎氏



四代目・栗原延行氏



三代目・日野七郎氏



六代目・渡邊正一氏



五代目・池田俊平氏



現理事長・平山良一氏



七代目・弓納持昇氏

### 半世紀にわたって業界をリード 歴代理事長に改めて敬意を

組合はお陰様で昭和四十一年九月に創立来、今年で五十周年の佳節を迎えることが出来ました。これもひとえに組合員・会友、協賛会員の方々のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

また、初代理事長の戸塚與三郎氏、二代目の池田欣二氏、三代目の日野七郎氏、四代目の栗原延行氏、五代目の池田俊平氏、六代目の渡邊正一氏、七代目の弓納持昇氏、そして八代目の現理事長の平山良一氏の八人の歴代理事長のご努力無くして今日の組合は無かったといっても過言ではありません。

昭和三十六年の「セルフラベル特許」の取得から五年後に創立された組合は、これまで決して順風満帆ではありませんでした。私たちは決して歴代理事長を始めとした業界の先覚者たちの労苦をこれからも忘れてはなりません。

五十年、半世紀にもわたる組合の歴史は、まさにシル印刷業界の歴史そのものです。

今では懐かしい顔ぶれが  
あっといふ間の五十年でした



組合のおもなあゆみ

六十年三月 第二七回年次大会を東京會館で開催。  
 六一年七月 地場産業振興対策事業の業種主指定を。  
 六二年十月 台湾シール印刷事情調査団三二名派遣。  
 平成二年三月 東京都よりモデル組合として表彰。  
 三年七月 連合会会長に栗原延行氏が就任。  
 九月 台湾製セパなしP Pフィルムの技術研修会を。  
 四年三月 連合会会長に日野七郎氏が就任。  
 四月 韓国ラベル市場視察団二二名を派遣。  
 六月 二〇周年記念で交通安全ステッカー一万五千枚を蔵前警察署に寄贈。  
 五年四月 第三五回年次大会を担当、浅草ビューホテルで開催。  
 四月 日野理事長急逝で従六位、勲五等瑞宝章が。  
 五月 第二八回総会で栗原延行氏が理事長に。  
 七年五月 第二九回総会で池田俊平氏を理事長に。  
 八年十月 創立三〇周年記念式典をロイヤルパークホテルで開催。  
 十年八月 組合ホームページを立ち上げ。

四一年八月 浅草橋産業會館に於いて組合員十九名で創立総会を開催。理事長に戸塚与三郎氏を。  
 九月 正式認可され登記を完了。  
 十月 全日本シール印刷連合会へ加入承認。  
 四三年三月 専売公社よりタバコ値上げ訂正シール八千万枚を組合として直接受注。  
 四六年五月 第五回総会に池田欽二氏理事長に  
 四八年三月 ラベル會館の竣工披露パーティを  
 五十年三月 専売公社より再度タバコ値上げ訂正シールを三億枚受注。  
 五一年十一月 戸塚与三郎氏に勲五等瑞宝章が。  
 五六年三月 都活路開拓調査指導事業報告会を。  
 六月 組合員増加のため東西南北四支部制を。  
 十一月 池田欣二氏に勲五等瑞宝章が。  
 五七年一月 新年会を正礼組合と合同開催へ。  
 五八年五月 第十七回総会で日野七郎氏理事長に。

組合創立の年の10月に行われた第1回組合研修旅行

十月 タイパックプリン  
ト視察団一六名を派遣。

五月 組合創立四〇周年  
記念式典を池之端文化セン  
ターにて開催。

会で平山良一氏が新理事長  
に選出  
二十六年四月 事業継続  
計画(BCP)ひな形を業界  
として初めて作成

十月 池田俊平氏が都知  
事賞を受賞

十九年五月 第四十一回  
通常総会で弓納持昇氏が第  
四代理事長に就任。

五月 全国中央会が「緊  
急時委託生産協定」を先進  
事例として取り上げる。  
二十七年八月 小規模事  
業持続化支援事業に取組み  
事業承継を学ぶ  
二十八年三月 創立五十  
周年記念で交通安全ステッ  
カー一万五千枚を蔵前警察  
に寄贈

十一月 第一回ラベル関  
連ミニ機材展を開催。

二十年五月 組合として  
ワークライフバランスに取  
組み

八月 労働時間設定等改  
善推進事業に取組み。  
二十一年三月 弥生印刷  
がGP認定工場に 十人以  
下では業界初  
二十二年二月 池田印刷  
が業界十一番目のGP認定  
工場に

十一月六月 都のエコア  
ップ事業所東京宣言に印刷  
関連団体として初の登録。

六月 作業交流一覧表を  
作成

十二月三月 活路開拓調  
査実現化事業を実施  
十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

十二月三月 活路開拓調  
査実現化事業を実施

七月 四支部制から東西  
二支部制に

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

十月 山本進平氏が都知  
事賞を受賞

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

五月 第三三回総会で渡  
邊正一氏を理事長に。

# フォトスナップ



組合会館の鋳入れ式の模様



左から創立20周年記念式典、



創立10周年記念式典、



今では貴重な平山、戸塚両氏のツーショット

# 組合設立の経緯

昭和四十一年度の役員改選などを巡り紛糾したため、戸塚與三郎氏。池田欣二氏など十数名が東京都正札シール印刷協同組合より脱会し、昭和四十一年

し、昭和四十一年八月に十九社により新たに「東京都ラベル印刷協同組合」を設立、全日本シール印刷協同組合連合会は当協組の加入を承認しました。

八月二十三日に浅草橋産業会館に於いて開催された創立総会には小島三郎会長代行が出席して、定款並びに事業計画、収支予算案がそれぞれ承認され、次の役員が選出されました。

理事長・戸塚與三郎  
 副理事長・藤田政二 専務理事・池田欣二 理事・日野七郎 松浦正 後藤清 小林金治 監事・野末彌市 (シール印刷のあゆみ七十七年史より)

その後も業界にとつて最も不幸な歴史といわれる特許係争などがあつたが、雨降って地固まる、の譬え通り今では両協組とも連合会のけん引役として業界をリードしていることはご承知の通りです。協同組合の原点は何といつても「一社ではできないことを数の力で」という、まさに『相互扶助の精神』です。

この五十年間、組合は歴代の理事長と組合員・会友が一体となつて事業を推進して参りました。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



当時からゴルフはプロ並みの恩田氏 今は亡き塩飽、小林、坂本、後藤、池田の五



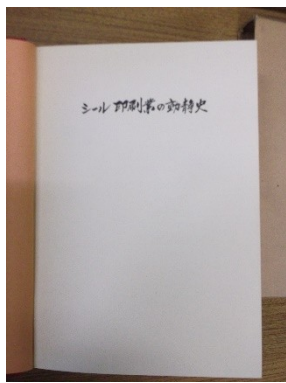
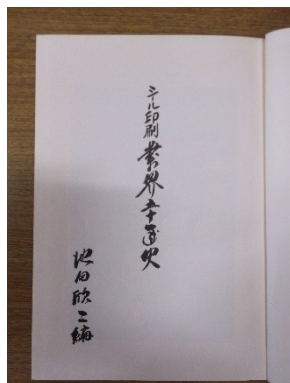
第1回目の交通安全ステッカー贈呈



屋形船での支部会も盛況でした



26年前の青年部の会合



池田欣二氏の貴重な著書2冊



創立40周年記念式典風景

## 組合のエポックとなった タバコ値上げシール

組合設立から二年後の昭和四十三年六月一日よりタバコが値上げされることに伴い、専売公社では新定価証紙を大日本印刷、凸版印刷、共同印刷、日進印刷の四社に発注したが、これはセルフラベル特許違反であると当時の小島三郎全会長と当組合の戸塚理事長、池田専務理事が専売公社と掛け合い、その結果専売公社側ではその一部を連合会にも発注しました。

連合会では東京以外の印刷では散逸の恐れがあると

として、当組合に一任することになり、公社側もこれを了承し、四月二十日に契約書を交わし、四月三十日に最終的には当時の栗原印刷(現シーレックス)が印刷して、証紙を納品しました。

また、昭和五十年三月にも専売公社より値上げシール十億枚の発注があり、その一部を受注し、納期までに事故なく無事に納品しました。

このことは世の中にセルフラベルが特許であること、を知らしめることとなり、同時に当組合の存在意義を改めて業界に示すエポックとなりました。



## 「交通安全ステッカー」二万五千枚を寄贈 創立五十周年記念で蔵前警察署に

組合では創立五十周年記念事業の一環として、今回も蔵前警察署に「交通安全ステッカー」三種類、計



万五千枚を寄贈しました。贈呈式は三月二十九日に蔵前警察署署長室で行われ、組合では創立五十周年記念事業の一環として、今回も蔵前警察署に「交通安全ステッカー」三種類、計一万五千枚を寄贈しました。

贈呈式は三月二十九日に蔵前警察署署長室で行われ、組合から平山理事長と本間専務理事が出席し、市村頭裕蔵前警察署長に交通安全ステッカーが手渡されました。(左から堀井修交通安全協会会長、市村署長、平山理事長、中村交通課長)



本年度最後の支部会を開催  
東、西支部とも勉強会で情報収集

本年度最後の支部会が、西支部は三月二日に池袋の「ライオン東口店」、東支部は三月四日に「上野市場



西支部は新タック化成の新製品を

御徒町店」に於いてそれぞれ開催されました。西支部は新タック化成の新商品について説明会が行われ、新製品のユポに近い印刷性能、粘着性能を備えたハム用の粘着紙と再剥離可能な粘着フィルムを紹介しました。

参加者からは製品に対する質問や疑問が出され、盛の新製品り上がった内容となり、森田支部長も「久しぶりに皆さんの元気な顔を見て安心しました」と、今回の開催を約束しました。

一方、東支部会は最近騒がれている『マイナンバー制度』について、印刷業者として最低限知っておかなければならないこととして、清宮和夫氏が、分かり易く説明しました。



東支部はマイナンバーの勉強会を

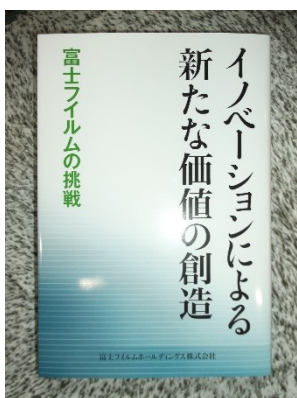
知っているようで知らなかったという組合員が多く、計理士や社会保険労務士も有効に活用してほしいと説明がありました。

富士フィルム 社史に代わる新たな出版物を

富士フィルムでは、これまで節目節目に社史を編纂・発行してきたが、このほど社史に代えて「イノベーションによる新たな価値の創造」と題する書籍を制作し、関係各方面に配布しました。

同社では銀を使った写真フィルム中心の会社から、写真フィルム市場の大幅な縮小に対応して所有する技術を活かし、それらを活用し得る分野への多角化を図ってきたが、現在同社はイノベーションによる優れた商品やサービスの提供を通じて、新たな価値を社会に

提供することとして前進していることがこの本にまとめられており、一人でも多くの方に読んでほしいとしている。



恒例の組合研修旅行

特種東海製紙三島工場  
の見学とゴルフと観光

六月十一日 十二日

恒例の組合研修旅行は、今年六月十一日(土)、十二日(日)の二日間開催することが決定しました。

十一日は特種東海製紙三島工場を見学することになっており、同社は「ユニークで存在感のある企業集団として、社会と環境に貢献する」を経営理念に掲げており、独自性、独創性のある文字通り特種紙を製造しています。

ホテルサンバレー伊豆長岡に宿泊し、翌日は「伊豆国際カントリー倶楽部」に於いてラベル会と、世界遺産に認定された伊豆菰山の反射炉などの観光組に分かれて一日を楽しむことになっていきます。近く案内状を送付いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。